



飯山市美術館
郷土の芸術家・
小林起二さん作品展示

現在、市美術館ロビーにおいて常設展示のなかで市内木島出身の芸術家・小林起二さんの陶芸や和紙作品4点を紹介しています。これらは、昨年ご遺族から寄贈していただいたもので、例えば、現代文明に警鐘を鳴らした続けた小林さんの後年の作品、退化宴(たいかえん)今生物語(けいぶつご)第22章「もう、すぐ空(そら)をさます」(写真・番左側)など、生きることそれ自体を芸術と捉えていた小林さんの多彩な活動の軌跡を特徴づけている作品となっております。機会がありましたら是非ご覧下さい。

(お問い合わせは
Tel. 01501 美術館まで)

飯山市ふるさと館冬季企画展
なつかしの飯山〜冬のくらし〜

みの・わらぐつ・こすきなど、昔懐かしい冬のくらしの生活道具や当時の写真等を展示します。

期間：1/10(土)～2/12(木)
場所：飯山市ふるさと館
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料：大人200円・小中学生100円
※市内小中学生は無料

飯山市ふるさと館特別企画展
懐かしの飯山南展

飯山南高等学校の閉校を記念し、南高の歴史、歴代制服や写真パネルなどを展示します。

期間：2月14日(土)～3月22日(日)
場所：飯山市ふるさと館
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料：大人200円・小中学生100円
※市内小中学生及び南高発行のチラシを持参された方は無料

◆本企画展は飯山南高等学校との共催です

飯山雪国大学文化講演会
「今だから語れる、大災害・事故報道の裏側」

講師 東京在住アナウンサー

日時 3/28(土) 午後1時30分～

会場 飯山市公民館 2階 講堂 (入場無料)

主催・お問い合わせ先：飯山市総合学習センター・飯山市公民館 (Tel. 62-3342)

権 人権シリーズ
「認知症高齢者の人権」

現在、私は須坂市内で認知症高齢者介護の仕事をしています。昨年夏に開催された飯山市の人権教育講座の講師浅井洋子さんは「高齢者の人権について」と題して講演していましたが、実は私の職場の理事長です。今回はその流れをくんで、認知症高齢者の理解について、事例をもとに述べさせていただきます。

まず、認知症高齢者とは、何らかの病気によって頭の中の記憶するための回路が切れてしまったり、新しいことを記憶するところが少なくなった(個人差がある)状態の方と考えてください。昔の記憶が残っているのが一般的ですが、人によって症状は様々です。つい五分前、いや一分前の事さえ覚えていない、覚えられないのが認知症の症状です。そのために、今現在一番気になっていることを聞きながら、覚えることができないので、同じことを何度も聞いてきます。認知症の方が納得すると、次の質問・行動に移っていくのが一般的です。私の経験や見聞から認知症の方の一般的な初期症状は、「物取られ症状」です。「財布がなくなつた」

「お金が無くなった」「着るものがなくなつた」「だれかが取つていった」このような話が高齢者の方から出てきた時には、一応認知症を疑って見る必要があります。当人からよく話を聞き一緒に探してみてください。「あーそうかい」「あーそうなんだ」「そうだね、そうだね」と話を聞くのです。そこで、困ったときは、当人が話している言葉を繰り返して見てください。「家に帰りたいんだね」「痛いんだね」と、そこでは説明したり、説得しようとしなくていいです。言葉に反論しないでいいに聞かなくていいです。正しいことを話しても相手はわかってくれません。自分の世界があるのです。身内の方となるとどうしても感情が入ってしまふので難しいものです。私も身内のこととなると考えてしまいます。

◆次に私の経験した事例を紹介いたします。

《事例1》94歳の施設利用者Aさん 私「子どもさん何人いるの？」 Aさん「やだー、なにいつてのよ、私独身よ」 私「これから結婚するの？」 Aさん「あたりまえだよ」 私「彼いるの？」

「Aさん」やだー、これから探すのよ」 Aさんの頭の中ではまだまだ自分の女性であり、これから結婚し子どもを生み育てると考えている方なのです。「結婚した」「旦那さんがなくなつた」「娘さんと一緒に暮らしている」と話しても通じないのです。しかし、Aさんを家に送った時には自然に娘さんの話をしてくれまふ。このような個人の状況を理解しての会話になります。

《事例2》82歳の施設利用者Bさん Bさんは女性の施設利用者です。時々施設に泊まる方です。当然ですがBさんはこの施設を自分の家とは思っていません。長男夫婦と同居しています。その家も自分の家と思っていない。また以前夫と暮らしていた家も自分の家とは思っていません。では自分の家はどこでしょうか、経験上、多くの方は自分の生まれた家が自分の家と思っっている場合が多いのです。そこで、「Bさんの家はどこでしょう」と言っても、頭の中ではきつと生まれた家と違うと思っっているのだから説明しても本人は納得しませんので、そのことを理解して対応しています。

《事例3》デイサービス利用者Cさん Cさんは帰宅して「今日はお風呂に入らなかつたので家で風呂に入る」というのです。家人は連絡帳の入浴欄で入浴したこと○印を示しながら確認しようとするのですが、「入っていない」「間違えている」とし、風呂に入ろうとして家人を困らせるのです。Cさんは、施設の風呂に入っているのですが、家の風呂に入りたいたいのです。ここは家人が理解し、ゆっくり滑らないように入浴介助の対応をすればと思うのです。ところが「施設で風呂に入ってきたことを忘れて一体どうなっているの」「相当ボケているわね」とやっつけまいがちです。施設で風呂に入ろうが入るまいが、本人にとつてわが家の風呂に入りたいたいという思いを受けとめること、それが一番本人にとつて心がやすまるのだと思います。

私は家族や施設職員は、認知症高齢者に対し、その人の考え方・行動の仕方への理解に努め、一人ひとりに合った対応の積み重ねこそが、認知症高齢者へのかかわりを持つすべての人の明日に生きる人権感覚を磨くことになると考えられています。

飯山市子ども会育成会連絡協議会長 関谷 公典

参加者募集！ はつらつ!! 健康教室

寒い冬、家の中で運動不足になりがちな体と暗くなりがちな心に栄養をあたえてあげましょう。はつらつ!健康を保ちたいあなた、お待ちしております。

「ヨガで心と体のリラックス」 講師 井出ふみ子先生

■日程 2月10日(火) 2月24日(火) 3月10日(火)
■場所 飯山市公民館2階講堂
■時間 各回PM2:00～3:30 ■定員 30名 ■参加料 300円(3回分)
■申込期限 2月2日(月)(定員になり次第締切)
■申込先 総合学習センター 飯山市公民館 (Tel. 62-3342)

第29回飯山市民芸術祭 参加者募集

第29回市民芸術祭を下記の日程で開催いたします。日頃の活動の成果を披露する絶好の機会です。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

■開催期日及び会場
・展示発表 4月11日(土)、12日(日)
会場 飯山市公民館・飯山市美術館
・舞台部門 4月19日(日)
会場 飯山市民会館(城山)

■申込期限 2月28日(土)
■申込問合先 飯山市民会館内 市民芸術祭事務局 Tel. 62-3341